

# 第五次御殿場市総合計画前期基本計画（御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略）・御殿場市人口ビジョン【概要版】

## 人口ビジョン・前期基本計画人口推計

### 人口の現状分析

- 人口は平成24年をピークに減少傾向にある。
- 89,030人（平成22年）から83,142人（令和7年6月）と減少が続いている。
- 自然動態は、平成29年以降、**自然減**が続いている。
- 社会動態は、平成21年以降、**社会減**の状態である。

### ＜年齢3階層別人口の推移＞

- 年少人口（0歳～14歳）は緩やかに減り続けており、平成12年～平成17年に老年人口（65歳以上）と逆転し、以後もこの傾向が続いている。令和2年時点で年少人口は老年人口の**約1/2**となったが、さらに高齢化が進んでいる。
- 老年人口は、今後も引き続き増加し、**令和27年頃まで増え続ける**ものと見られる。

### ＜社人研の推計（これまでの傾向が続くと…）＞

- 令和27年には**24歳以下と45～54歳が減少**し、**70～74歳が最も大きな割合を占める**ことが予想される。
- 令和52年には**57,257人まで減少と推計（約35%減（平成22年比））**。

### 目指すべき将来の方向

本市は、自然減かつ社会減の状態が続いており、少子高齢化も進むことから、人口減少のスピード抑制を図る取組を推進していく。

- 移住・定住促進 ●魅力ある雇用・就労の場の創出 ●子育てしやすい環境の充実
- 地域の人材育成と教育の充実 ●健康寿命の延伸 ●多文化との共生

### ＜将来のまちの姿＞

“住み続けたい”をかなえる ～富士山とともにある ごてんば暮らし～

### 人口の将来展望

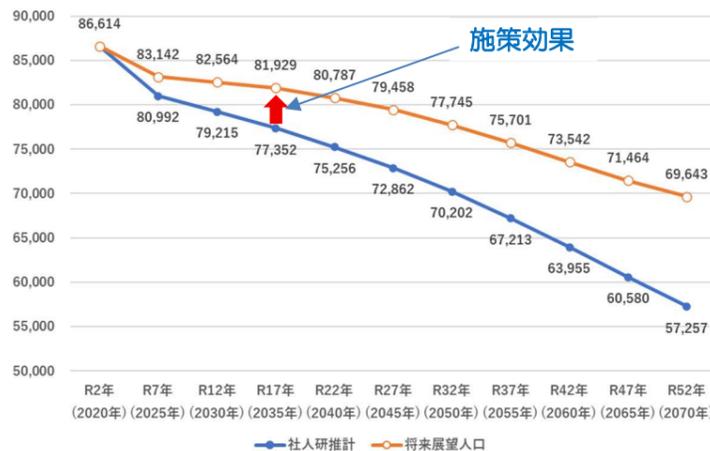
#### ○合計特殊出生率の上昇

- 1.54（令和7年）から25年間（令和32年）で2.07まで上昇・維持

#### ○転出の抑制・転入の増加

- 社会移動率を令和7→17年（社人研推計値）の水準よりも2.5%上昇

- 第五次総合計画期間（令和8年度～17年度）に**81,000人**（※前期基本計画期間（令和12年度）は82,000人）、令和52年に**69,000人**の人口を目指す。



《将来都市像

緑きらきら

人いきいき

未来つなぐ

交流都市 御殿場

## 前期基本計画(総合戦略) 計画期間(令和8～12年度)

### 御殿場ウェルビーイング(幸福度・満足度)指標

現在住んでいるまちの暮らしに満足している

このまちに愛着を持っている

若者が活躍しやすいまちだと思う

やりたい仕事を見つけやすいと思う

| 政策方針   | 数値目標   |        | 主な政策  | 主な重要業績評価指標 (KPI)                            |                  |
|--|--|--------|---|---|------------------|
|  | 指標 (市民満足度スコア等)   | 令和12年度 |   | 指標  | 目標値 (令和12年)      |
| 1 【産業】<br>人が集い<br>活力あふれる<br>産業を育てる<br>まちづくり    | ◆「観光客がたくさん訪れ、まちが活性化している」                               | 3.2    | ・国内外の観光交流客の周遊・滞留による産業の活性化<br>・新たな企業誘致と産業連携の推進 | ・観光交流客数<br>・地域産業立地促進事業費補助件数                 | 1,700万人<br>10件   |
|  | ◆「経営者にとっても、消費者にとっても、魅力のある農林業が行われている」                   | 3.0    |   |   |                  |
|  | ◆「商業、工業に活力と競争力がある」                                     | 3.0    |   |   |                  |
| 2 【健康福祉】<br>笑顔あふれる<br>健やか・福祉の<br>まちづくり         | ◆合計特殊出生率   | 1.54   | ・子育てしやすい環境づくりの推進<br>・健康づくりの促進                 | ・放課後児童クラブの利用率<br>・運動習慣のある人の割合：壮年期           | 45%<br>40.0%     |
|  | ◆「安心して子どもを産み育てる環境が整っていると思う」                            | 3.1    |   |   |                  |
|  | ◆「健康づくりの機会や、地域の医療は充実している」                              | 3.0    |   |   |                  |
| 3 【防災・市民生活】<br>安全で安心して<br>暮らせる<br>まちづくり        | ◆「地震などの自然災害や火災への備えができています」                             | 3.2    | ・危機管理体制の構築<br>・治山・治水対策の充実                     | ・防災訓練参加者割合<br>・年間間伐面積累計値                    | 30.0%<br>2,128ha |
|  | ◆「交通事故や犯罪が少なく、環境も守られ、生活が安全である」                         | 3.5    |   |   |                  |
| 4 【教育文化】<br>富士山のように<br>大きな心を持<br>った人づくり        | ◆「こどもからお年寄りまでが、進んでいるいろいろなことを学ぶことができる環境が整っている」          | 3.2    | ・人を育む環境の充実<br>・生涯学習と地域活動の推進                   | ・学校の自己評価・学校関係者評価による教育課程の改善状況<br>・市民大学講座参加者数 | 98.0%<br>350人    |
|  | ◆「文化やスポーツ、レクリエーション、ボランティア活動など、仕事以外の時間も充実していて、生きがいを感じる」 | 3.1    |   |   |                  |
| 5 【環境】<br>富士山の恵みを<br>守り育てる<br>まちづくり            | ◆「豊かな自然が保たれ、自然に親しむことができる」                              | 3.8    | ・恵まれた自然環境の保全と継承<br>・身近な生活環境の向上                | ・こども環境会議参加者数<br>・河川水質調査箇所環境基準値超過割合 (BOD)    | 180人<br>0%       |
|  | ◆「ゴミの減量化、リサイクル、省資源、省エネルギーが進んでいる」                       | 3.6    |   |   |                  |
| 6 【都市基盤】<br>富士山の麓に<br>ふさわしい<br>美しく快適な<br>まちづくり | ◆「良好な景観が維持されている」                                       | 3.5    | ・魅力ある景観の形<br>・交通基盤の整備                         | ・眺望遺産の認定件数<br>・都市計画道路整備率                    | 7件<br>52.4%      |
|  | ◆「道路や公共交通が、歩行者と環境に配慮して整備されている」                         | 3.0    |   |   |                  |
| 7 【協働・計画推進】<br>富士山と共に<br>歩む協働の<br>まちづくり        | ◆社会動態による増減(人) 静岡県統計年鑑、人口ビジョン                           | +924人  | ・魅力発信の強化<br>・市民参画と協働の推進                       | ・移住相談件数<br>・市民活動支援センター団体登録数                 | 70件<br>130件      |
|  | ◆「市役所は最小の経費で最大の効果をあげるように努めている」                         | 3.0    |   |   |                  |

### 国における総合戦略の政策目標

強い経済

豊かな生活環境

選ばれる地方